

八幡平市議会議長 工藤 剛 様

八幡平市長 田村 正彦



令和元年度八幡平市議会報告会「議員と語る会」で寄せられた要望・提言等に
に係る市の対応方針について（回答）

令和元年12月27日付け八議事第122701号で通知のありました標記について、
おり回答します。



記

(1) 松尾コミュニティセンター（令和元年11月25日・1班）

① 北森駅からコンビニまでの歩道を要望し、交渉すると言っていたが次の展開がない。
また、北森駅前に信号を設置してほしい。

【回答】

歩道設置の要望箇所につきましては、岩手県管理の道路となっていることから、
市町村要望として、歩道設置の要望を検討してまいります。

また、北森駅前の信号設置につきましては、交通信号機は岩手警察署が管理を行
っております。交通信号機に関する意見、要望は、岩手警察署が現地を調査し、そ
の必要性を判断いたします。市といたしましては、岩手警察署へ市民要望として提
出させていただきます。なお、交通信号機の設置の可否の把握まで時間がかかると
思われますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【回答担当課：建設課・防災安全課】

② 県北バスの終着が平館駅前になっているが、始発、終着とも市役所前にすべきで
はないか。

【回答】

現在、市内を運行している全ての路線バスは、国庫補助により運営費の補助を受
けて運行している路線です。補助対象の基準は平均乗車密度であり、これが基準値
を下回ると国庫補助を受けることができなくなり、存続が難しくなります。

昨年度の平館駅路線の平均乗車密度は、かろうじて基準値を上回っていますが、
平館駅から市役所まで延長した場合、現在の乗車人数のままであれば、平均乗車密
度が基準値を下回る可能性が出てきます。

また、平館駅から市役所まで延長した場合、運行費用が増額となる旨、路線バス

運行事業者が試算しています。

以上のことから、今後、需要調査などを行った上で、費用対効果を検証してまいりたいと考えております。

【回答担当課：地域振興課】

(2) 田頭コミュニティセンター（令和元年11月25日・2班）

① 西根病院跡地の今後の有効活用について伺う。

【回答】

新病院移転後における現西根病院の建物及び土地をどのように活用するかにつきましては、現時点で未定となっておりますが、建物に係る検討の方向性として、他者への貸し付けと解体の2つを考えております。

併せて、解体後に更地となった場合の土地に係る検討の方向性として、貸し付けや売却等様々な選択肢があるものと認識しております。

仮に、他者に建物を貸し付けしようとする場合、各種設備等の老朽化が著しいことから、多額の補修費用や維持管理費用が伴うことが予想されます。

一方、建物を解体しようとする場合においても、解体工事発注前にアスベスト調査等を実施する必要があるとともに解体費用も多額になると予想されるため、移転後直ちに解体することは難しいものと考えております。

何れの方法につきましても、多額な費用等を伴うことから、新病院移転後における経営状況も踏まえながら、必要な財源を確保し、有効活用できるよう検討してまいりたいと考えております。

【回答担当課：西根病院】

② 岩手山サービスエリアへのアクセス道路の軽舗装整備を要望する。

【回答】

軽舗装整備につきましては、軽舗装整備事業により、毎年度、家屋の状況や通学路としての位置づけ、車両の通行状況を考慮しながら、優先度の高い路線から順次整備を行っているところであります。

本要望につきましても、要望箇所として承りましたので、今後優先度を考慮しながら検討してまいります。

【回答担当課：建設課】

(3) 寺田コミュニティセンター（令和元年11月25日・3班）

① 農地利用最適化推進委員の報酬について、議員からの質問は別に推進委員からの要望ではない。それより、各農地を確認、検査しやすいようタブレット端末の配布など、推進委員が仕事をしやすくなるような環境整備が望ましい。

【回答】

令和元年度は4地区調査会（西根南地区、西根北地区、松尾地区、安代地区）用として各1台、事務局1台、計5台の現地確認用農地写真（地番情報等掲載）タブレットに係る賃借料を予算措置し、使用しております。

使用につきましては、農業委員会事務局に4台、安代総合支所に1台配置し、使用を希望する農業委員・農地利用最適化推進委員が最大1週間借用できるという方法で貸し出しているところです。

また、今年度のタブレット稼働状況を参考に、来年度も同様の予算内示としたところではあります。

しかし、委員によってはタブレット操作の得意・不得意があるため、今年度は農地法第30条第1項に基づく「利用状況調査」（農業委員会の必須業務）に位置づけて行う農地パトロールにおいて使用する地図もA2版、500分の1で、地目・地積・所有者・耕作者の情報を入れた地図を準備し、配布しました。地図については、**荒廃農地調査**等の集計作業があるため、農業委員会事務局で回収しておりますが、希望する委員には地図の貸出もしております。

なお、今年度は委員を対象としたタブレット操作講習や地図の見方の説明を行いました。来年度も同様の機会を設けるなど、委員の要望にできるだけ添えるよう、農業委員会事務局を通じて対応していきたいと考えております。

【回答担当課：農業委員会】

② 田代平における広大な大根畑から、降雨時に大量の土砂が流出し、環境を著しく損なっている。何とかならないか。

【回答】

当該地域における大量の土砂流出につきましては、農地保全の観点から流出防止対策を講じていただくよう複数回にわたって、協力を要請してきたところであり、流出防止用の土手を作って対策を講じて頂いた経緯もあります。今後も降雨時における大量土砂流出事案が生じる場合には、対策を講じるように協力要請を行ってまいります。

【回答担当課：農林課】

(4) 大更コミュニティセンター（令和元年11月26日・1班）

① 大更小学校周辺道路の通学路を整備してほしい。

【回答】

大更小学校周辺道路の通学路整備については、市道山子沢線、市道森合線を中心に現在実施しているところであり、今後とも早期完成に向け事業進捗を図ってまいります。

また、岩手県においては、一般県道~~渋民田頭線~~大更地区を交通安全事業として、住居連坦地の幅員狭小箇所について歩道整備を推進していただいているところであり、早期に完成が図られるよう、機会を捉え要望してまいります。

【回答担当課：建設課】

② 渋川開拓の農業用水路は防火用水として使用しているが、冬期間は水を流さないのので、対策をしてほしい。

【回答】

水路の管理者である、松川土地改良区に通水の依頼をし、承諾を得ました。

また、冬期間の水路の見回り（水路管理）を地元消防団に依頼します。

【回答担当課：防災安全課】

(5) 田山コミュニティセンター（令和元年11月26日・3班）

① 小中学校でスマホは、どの程度所持しているか。

【回答】

令和元年度10月実施の「児童生徒の情報機器の使用に関するアンケート調査」から

1 小学4～6年生在籍数479名中、474名の回答、中学1～3年生在籍数532名中、517名の回答がありました。

・【児童生徒回答】

自分専用の携帯電話所持 小学4～6年生は121名 25.5%

中学1～3年生は296名 57.3%

うちスマートフォンの所持 小学4～6年生は 84名 17.7%

中学1～3年生は221名 42.7%

2 小学4～6年生の保護者数479名中、429名の回答、中学1～3年生保護者532名中、444名の回答がありました。

【保護者回答】

子供が自分専用の携帯電話所持 小学4～6年生は 77名 17.9%

中学1～3年生は176名 39.6%

うちスマートフォンの所持 小学4～6年生は 47名 11.0%

中学1～3年生は142名 32.0%

児童生徒の回答と保護者回答に差があります。その差の原因は不明ですが、児童生徒が保護者の使用済み機器（携帯会社解約済み）や児童生徒が普段使用している家庭のタブレット端末を自分専用と回答している可能性があります。

【回答担当課：教育総務課・教育指導課】

【お問い合わせ先】
総務課 佐々木仁
内線1231